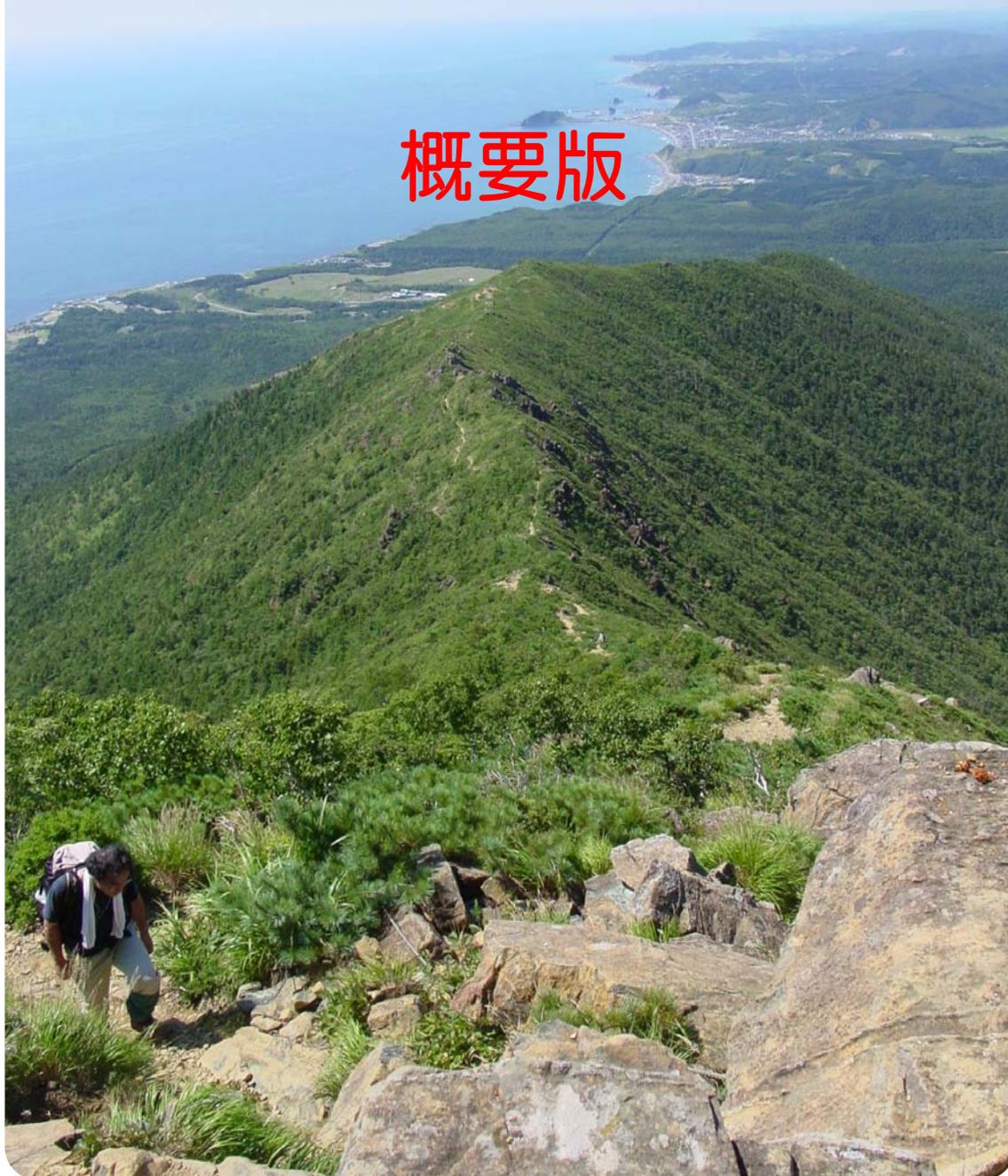


2011 様似町

# 下水道中期ビジョン

～ 守ろうよ様似の自然、未来へつなぐ下水道 ～

概要版



北海道様似町



# 2011様似町 下水道中期ビジョン 概要版 目次

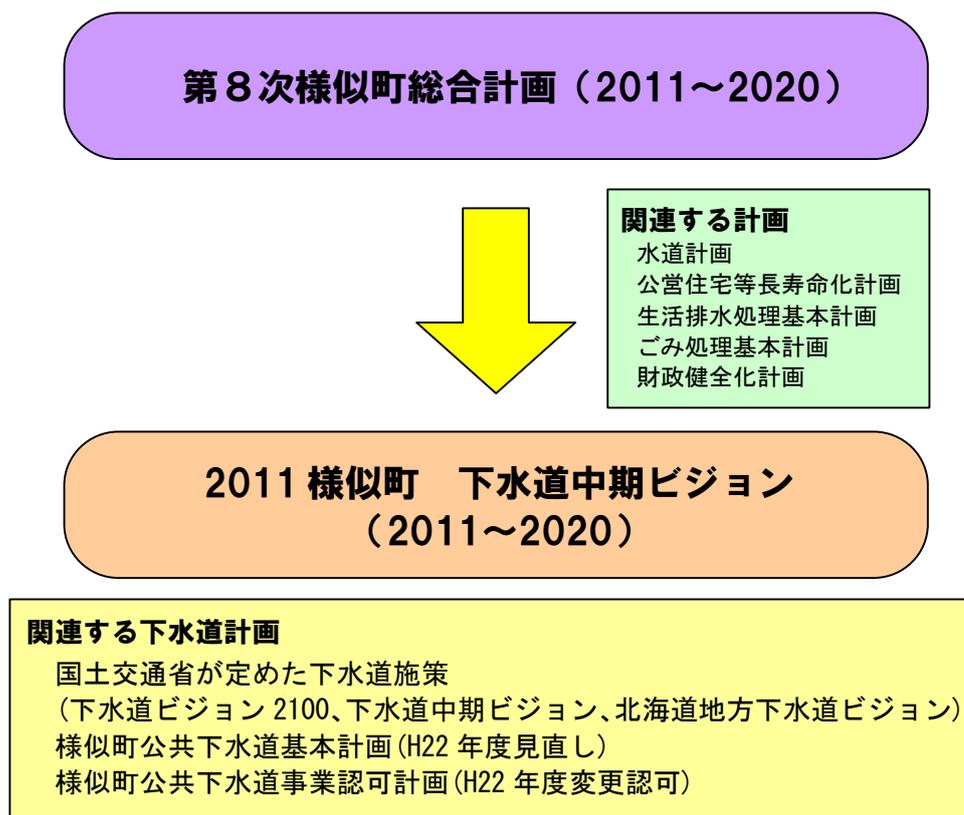
1. はじめに.....	1
1. 1. 下水道中期ビジョン策定の目的・意義.....	1
1. 2. 様似町における下水道中期ビジョン策定フロー.....	2
2. 下水道事業の概要.....	3
2. 1. 下水道計画と施設の概要.....	3
2. 2. 下水道事業の効果.....	5
3. 下水道事業の現況と課題、今後の取り組みの方向性.....	5
4. 住民意向アンケート結果.....	6
5. 第8次様似町総合計画策定にかかる総合振興審議会への意見聴取結果.....	7
6. 下水道中期ビジョン協議会(庁内課長会議)結果.....	7
7. 下水道施策のあり方.....	8
7. 1. 基本理念.....	8
7. 2. 基本方針.....	10
8. 具体的な施策計画.....	11
8. 1. 下水道経営：将来を見通した健全な下水道経営を目指す.....	11
8. 2. 整備済下水道施設(下水道ストック)：適切な維持管理, 計画的な修理・更新を目指す.....	11
8. 3. 汚水処理：適切な汚水処理を目指す.....	11
8. 4. 水環境：川や海をよごさないよう水環境の保全を目指す.....	12
8. 5. 将来施策 地震対策：将来にむけて地震に負けない下水道を目指す.....	12
8. 6. 将来施策 地球環境貢献(下水道資源・資産)：汚泥、施設の有効利用を目指す.....	12
8. 7. 参考施策 浸水対策：雨に負けない下水道を目指す.....	12
9. 施策別優先順位.....	13
9. 1. 様似町下水道中期ビジョンにおける今後10年間の具体的な施策.....	14



## 1. はじめに

様似町下水道中期ビジョンの策定では、本町における現況や課題に配慮し、下水道施策の将来目標や取り組むべき具体的な施策を、住民意見を反映させた上で、取りまとめます。

とりまとめにあたっては、上位計画となる『第8次様似町総合計画 2011-2020』に基づき、各種関連計画と整合を図った上で、町民が求める『安心』と『暮らしやすさ』の実現を目指し、下水道中期ビジョンを策定します。



### 1.1. 下水道中期ビジョン策定の目的・意義

下水道中期ビジョン策定の目的は、社会環境の変化や自然環境の変化に応じて、下水道の役割や貢献できる分野も変化していくと考えられるため、現況と課題を認識し従来型の役割だけでなく、長期的な視点で将来を見据えた下水道のあり方、方向性を見出していくことです。

下水道ビジョンの策定にあたり、国と地方自治体の役割分担が示されています。

国は下水道事業の方向性を明確にするため、基本方針を提示したり、確実な事業の実施に向けての法制度、技術的基準の整備、指導及び助言等の関与を行います。

地方自治体は地域の目標像を掲げ、実現に向けての関係部局との連携、ハードとソフトの一体化、行政と住民の協働、民間活力の活用、行政区域を超えた取り組みなど、既存の

枠組みにとらわれず、地域に適した手段を組み合わせ、最適解の実現を目指します。

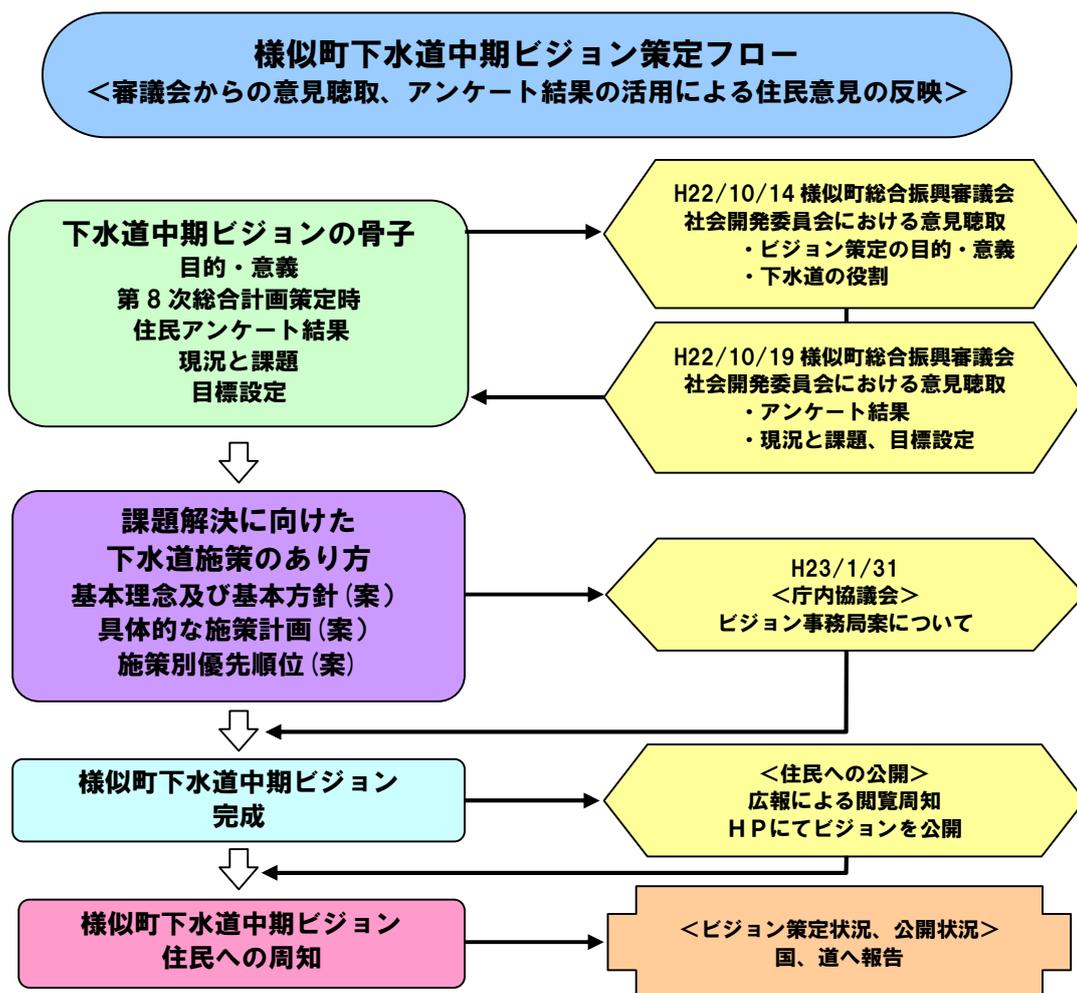
本町においても、現況や課題に配慮し、国にて示されたビジョンを参考に、今後の具体的な下水道事業の方向性を本ビジョンとしてとりまとめます。

## 1.2. 様似町における下水道中期ビジョン策定フロー

本町は、持続可能な社会の実現を目指し、長期的な視点で将来を見据えた上で、下水道事業のあり方をビジョンとして策定します。

様似町下水道中期ビジョンを策定するにあたり、『北海道地方下水道ビジョン』に掲げられた各種施策を参考としつつ、本町における現況や課題に配慮し、今後の具体的な下水道事業の方向性を本ビジョンとしてとりまとめます。

ビジョン策定では、第8次総合計画策定にかかる総合振興審議会にビジョン骨子案を提示し意見を聴取し、様似町住民アンケート結果も活用し、住民意見を反映させたビジョン案を策定します。庁内協議会を経て、ビジョンの完成を目指します。



## 2. 下水道事業の概要

### 2.1. 下水道計画と施設の概要

様似町下水道計画と下水道施設の概要を以下に示します。

表 2-1-1 様似町下水道計画の概要

※平成22年度全体計画見直し、変更認可後の諸元

		様似処理区		摘要	
		全体計画	認可計画		
下水道計画目標年次		平成32年	平成27年	全体計画年次は第8次様似町総合計画(H23-H32)に同じ	
排除方式(分流・合流の別)		分流式	分流式		
下水道計画区域	汚水 (ha)	195.0	195.0	※雨水認可取得済み 処理場周りにて一部整備あり	
	雨水 (ha)	195.0	195.0		
下水道計画人口	(人)	3,280	3,610		
家庭汚水量 原単位(日最大)	(L/人・日)	420	420		
地下水量 原単位(日最大)	(L/人・日)	40	40		
計画日最大汚水量	(m <sup>3</sup> /日)	1,644	1,797		
		≒1,650	≒1,800		
内訳	家庭汚水量	(m <sup>3</sup> /日)	1,378	1,517	
	工場排水量	(m <sup>3</sup> /日)	0	0	工場排水は接続不可 なお、工場事業所の生活排水は接続可
	地下水量	(m <sup>3</sup> /日)	131	145	
	その他水量 観光汚水量	(m <sup>3</sup> /日)	135	135	

表 2-1-2 様似町下水道施設の概要

※平成21年度末

整備状況		様似処理区	摘要
整備面積	汚水 (ha)	182.4	
	雨水 (ha)	0.5未満	処理場周りにて一部約100m整備あり
処理区域	(ha)	182.4	整備面積に同じ
処理人口	(人)	3,890	整備人口に同じ
水洗化人口	(人)	3,389	下水道接続済み人口
整備済み污水管	総延長(千m)	37	
整備済み雨水管	総延長(千m)	0.1	雨水認可取得済み 処理場周りにて一部約100m整備あり
処理施設(日最大)		様似下水終末処理場	
	処理能力(m <sup>3</sup> /日)	1,845	既設3池能力
	実績流入水量(m <sup>3</sup> /日)	1,434	H21年度日最大流量 (雨天時のみ除く)

【様似下水終末処理場】



下水終末処理場の概要 (H22全体計画)		下水終末処理場の施設内容			
●名称	様似下水終末処理場	施設名称	構造及び能力	全体計画	認可計画 (既設)
●所在地	様似郡様似町栄町288番地先	管理本館	R C造 地下1階 地上2階	1棟	1棟
●敷地面積	9000m <sup>2</sup>	主ポンプ	水中ポンプ φ150mm	3台	3台
●排除方式	分流式	自動除塵機	円筒スクリーン型脱水機	1台	1台
●処理方式	オキシデーションディッチ法	オキシデーション ディッチ	巾4.0m×長94.82m×深2.5m	3池	3池
●計画処理区域	195ha	最終沈殿池	径11.0m×深3.5m	3池	3池
●計画処理人口	平成27年認可計画時点 3,610人 平成32年全体計画時点 3,280人	塩素混和池	巾4.0m×長23.5m×深1.18m	1池	1池
●処理能力	1,845m <sup>3</sup> (615m <sup>3</sup> ×3池)	汚泥濃縮槽	径4.5m×深3.5m	1池	1池
●建設費	約25億円	汚泥貯留槽	巾4.5m×長4.0m×深3.5m	1池	1池
●供用開始	平成11年3月31日	汚泥脱水機	遠心脱水機	1台	1台

図 2 - 1 - 1 様似下水終末処理場

## 2.2. 下水道事業の効果

汚水整備による普及率は平成 21 年度末 73.8%、水洗化率は 87.1%であります。汚水整備の向上により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全など、下水道汚水整備による効果が表れてきております。

下水道による雨水整備は、下水処理場を造成するにあたり、低み箇所が発生することから、処理場周りに約 100mほどの雨水管を整備しております。この箇所以外のほとんどの区域は既存の道路排水などにより雨水排除がなされております。これら既存道路排水や下水道雨水管の機能により、様似地区市街地では大きな浸水被害は発生しておりません。

## 3. 下水道事業の現況と課題、今後の取り組みの方向性

下水道事業は、生活環境の改善、浸水の防除及び公共用水域の水質保全など、重要な役割を担っております。本町では、整備進捗に合わせて整備効果が発揮しております。

しかし、下水道を取り巻く環境は変化してきており、人口減少や少子高齢化、産業構造の変化の進行など、社会情勢の変化が予想されております。また、快適で便利な生活やよりよい環境を求めるニーズの変化、気候変化や鉱物資源の枯渇などの地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化、生物多様性の喪失など生態系劣化の深刻化などが進むものと考えられております。

このような中で、将来の社会や自然環境に対し、下水道に期待される役割、貢献できる分野も変化していくものと考えられます。様似町下水道事業の現況と課題について『北海道地方下水道ビジョン』で示めされた項目を参考に抽出し、今後の取り組みの方向性について考察しました。

- 1) 下水道経営の現況と課題、今後の取り組みの方向性
- 2) 整備済下水道施設(下水道ストック)の現況と課題、今後の取り組みの方向性
- 3) 汚水処理の現況と課題、今後の取り組みの方向性
- 4) 地震対策の現況と課題、今後の取り組みの方向性
- 5) 浸水対策の現況と課題、今後の取り組みの方向性
- 6) 水環境の現況と課題、今後の取り組みの方向性
- 7) 下水道資源・資産の現況と課題、今後の取り組みの方向性

#### 4. 住民意向アンケート結果

下水道中期ビジョンの策定では、住民意見の反映を行うことが必要です。第8次様似町総合計画策定に向けて平成21年度に実施されたアンケート結果を住民意見として活用します。アンケート結果から、下水道の役割を継続することが望まれていることから、住民の皆様にご満足いただけている下水道事業を今後とも継続していく必要があります。

アンケート実施期間：平成21年1月30日～2月28日

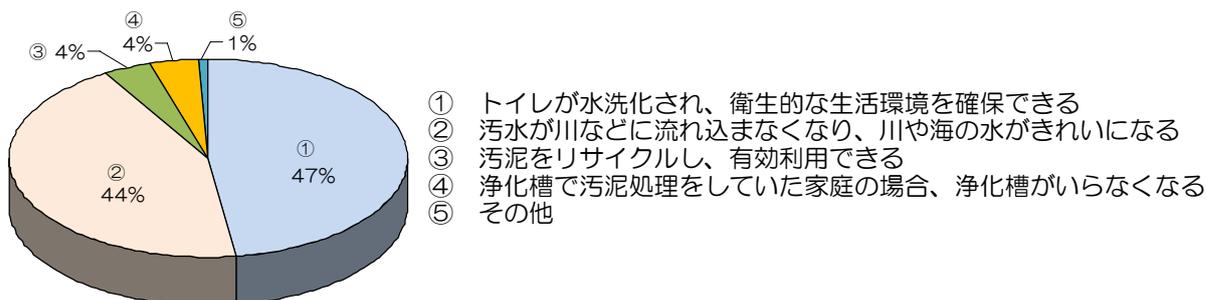
アンケートの目的：下水道に関する住民アンケート

アンケートの結果：多くの皆様が下水道にご満足いただけていることがわかりました。

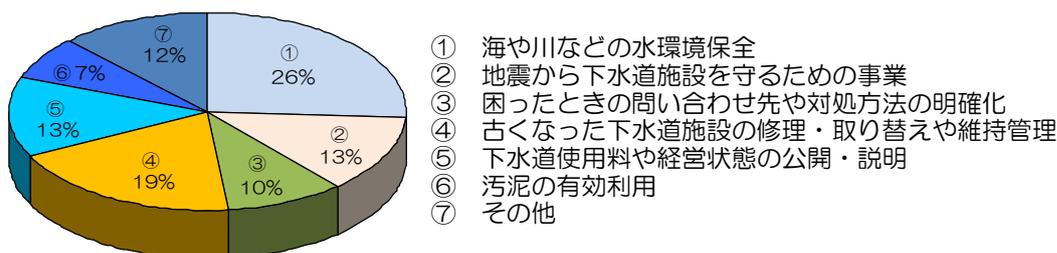
また、重要な下水道の役割として、『トイレが水洗化され、衛生的な生活環境を確保できる』、『汚水が川などに流れ込まなくなり、川や海の水がきれいになる』と回答いただいた方が全体の9割に達し、下水道の役割や効果を理解していただいていることがわかりました。今後の下水道事業への要望として最も多い回答は『海や川などの水環境の保全』でした。下水道使用料金については、「高い」と回答された方がほぼ半数、「高いか安いかはよくわからない」、もしくは、「適正」と回答いただいた方がほぼ半数と、評価が分かれました。

町民の皆様のご満足度が高い下水道を将来的に継続していく必要があります。

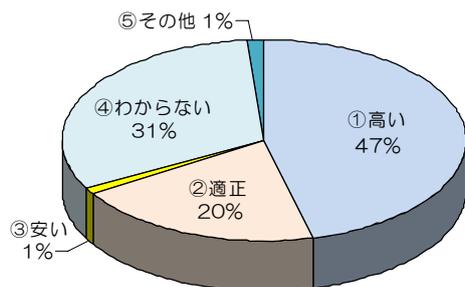
質問1：下水道の役割について、重要と思われるものを選んでください。



質問2：下水道事業に対する要望をお聞かせください。



質問3：現在の下水道料金について、あなたのご意見をお聞かせください。



## 5. 第8次様似町総合計画策定にかかる総合振興審議会への意見聴取結果

下水道中期ビジョンの策定にあたり、平成22年10月14日、19日にて、第8次様似町総合計画策定にかかる総合振興審議会の専門委員会(社会開発委員会)が開催されました。審議会にて、下水道の今後のあり方をまとめた“様似町下水道中期ビジョン骨子”を示し、意見聴取を行いました。

審議会の意見として、雨水対策、汚泥広域処理、下水道施設維持、施設の耐震化、災害時対応などについて、ビジョンに盛り込むよう要望がありました。

下水道施設の現状評価と合わせると、直近で対応が必要な事項として、下水道の役割が持続するよう如何に下水道施設を維持・更新していくかが当面の課題として挙げられます。

一方、その他の項目は、将来的な検討事項として下水道施策に位置付けます。

また、下水道中期ビジョンを進める上でのキャッチフレーズは、審議会の意見を尊重し、公募を行い決定します。

ビジョン策定に向けて、庁内課長会議を下水道中期ビジョン協議会として活用し、ビジョン案の具体的な内容について審議し、ビジョン案の決定を行います。

## 6. 下水道中期ビジョン協議会(庁内課長会議)結果

平成23年1月31日にて、庁内課長会議を『下水道中期ビジョン協議会』として開催し、ビジョン事務局案について意見交換を行いました。

結果、ビジョン案について了解を得ました。

### 協議結果

- ・ ビジョン案の基本的事項について了解を得ました。
- ・ 事務局にてビジョン案を精査することについて了解を得ました。
- ・ ビジョン公開方法についてHP、広報を通じて行い、最終的に国土交通省に報告(道経由)を行うことについて了解を得ました。
- ・ キャッチフレーズについて公募を行い、町長、事務局にて最終選定を行うことについて了解を得ました。

以上から、審議会意見が反映された事務局案に対して了解が得られたことから、ビジョン案の基本方針に沿って、事務局にて最終案をまとめることになりました。

## 7. 下水道施策のあり方

### 7.1. 基本理念

様似町の下水道事業における現況と課題を整理し、今後の取り組みの方向性を検討し、住民意向アンケート、総合振興審議会からの意見を踏まえ、下水道ビジョン協議会(課長会議)での協議の結果、以下の6つの項目に対して、様似町が目指すべき下水道施策の方向性を整理できました。なお、浸水対策は下水道の役割の1つであるが、現状では課題となっていないため、本町の今後の下水道事業としての基本理念として残しつつ、現ビジョンでは参考施策として扱います。

#### 1) 下水道経営

持続可能な下水道事業を目指し、経営の健全化対策を継続的に実施  
人口減少や将来施策などに配慮した長期的視点に立った下水道経営計画の検討

#### 2) 整備済下水道施設(下水道ストック)

持続的に安定した下水道サービスを提供するための維持管理水準の確保  
下水道管理体制の維持・確保  
定期的な調査、施設の延命化を含めた維持管理修繕・改築等の計画策定

#### 3) 汚水処理

汚水処理サービスの維持  
水洗化の推進

#### 4) 水環境

水環境保全を目指した放流水質の維持

#### 5) 地震対策

将来に向けた地震対策の検討

#### 6) 下水道資源・資産

地球温暖化、資源の循環利用などに配慮した下水汚泥や施設の有効活用の検討

#### 参考施策：浸水対策

治水レベルの維持

様似町の今後の下水道施策では、下水道の役割によってもたらされた安全・安心・快適な生活環境が持続する施策を最優先とし、現有施設を適切に維持管理し、計画的な修繕・改築等を行い、経営面でも健全な下水道を目指します。行政主導で進められてきた下水道事業から、サービスを楽しむ住民の皆様の側に立った下水道事業の推進を目指します。

将来的には、地震や浸水など災害に強い下水道の構築を目指します。また、地球環境問題への解決のため、循環型社会の構築に向けた新たな役割を目指します。

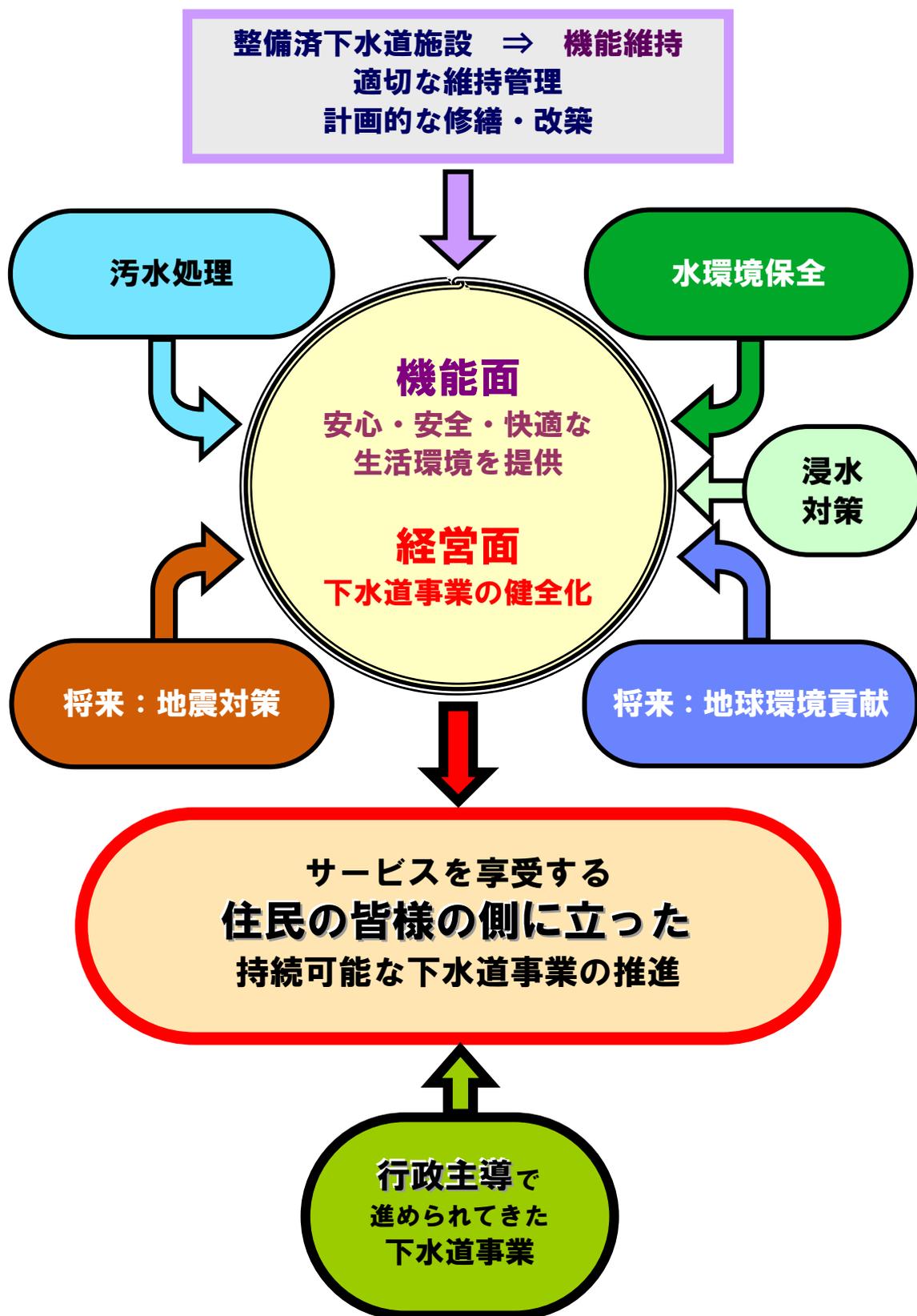


図7-1-1 下水道施策のあり方 基本理念図

今後の下水道施策を進める上で、様似町下水道の基本理念を住民の皆様幅広く理解していただくために、“キャッチフレーズ”を設定しました。キャッチフレーズは様似町の子どもたちから公募を行い、事務局にて決定いたしました。

## キャッチフレーズ 『守ろうよ様似の自然、未来へつなぐ下水道』

様似町の豊かな自然環境、海、川を守る下水道。この下水道によってもたらされる安全安心・快適な生活環境が、これからもずっと、現在から未来へ引き継がれていくように、との思いからこのキャッチフレーズに決定いたしました。

### 7.2. 基本方針

本ビジョンの基本理念、キャッチフレーズ『守ろうよ様似の自然、未来へつなぐ下水道』に沿って、安全・安心・快適な下水道を目指します。事業を推進する上で、課題に沿った対策実施を行います。

以下に、様似町下水道中期ビジョンにおける基本方針を示します。当ビジョンでは、基本理念に示した6項目のうち、以下の4施策を優先的に実施していきます。

これからの下水道では、整備済下水道施設をどのように維持していくかが大きな課題であり、現在の下水道施設を維持することができれば、今までどおりの下水道の役割は今後とも継続していくことになります。

下水道中期ビジョンでは、これらの課題を優先しつつ、将来的に、地震対策、下水道資源・資産の課題解決に向けた検討を行います。

### ＜様似町下水道中期ビジョン基本方針＞

課題	課題解決に関する基本方針
1) 下水道経営	将来を見通した健全な下水道経営を目指す
2) 整備済下水道施設(下水道ストック)	適切な維持管理、計画的な修理・更新を目指す
3) 汚水処理	適切な汚水処理を目指す
4) 水環境保全	海や川をよごさないよう水環境の保全を目指す
将来施策 地震対策	将来に向けて地震に負けない下水道を目指す
将来施策 地球環境貢献(下水道資源・資産)	汚泥の有効利用、施設の有効利用を目指す
参考施策 浸水対策	雨に負けない下水道を目指す

## 8. 具体的な施策計画

様似町下水道中期ビジョンの基本方針に沿って、具体的な施設計画を立案します。当面10年間においては【○】で示した対策を優先的に実施します。

### 8.1. 下水道経営：将来を見通した健全な下水道経営を目指す

- ○住民への情報開示の継続、推進
- ○接続率向上に向けたPR活動の推進（水洗化率の向上）
- ○維持管理の効率化、コスト縮減、質的向上
- ○持続可能な経営を目指して、財政健全化計画の継続実施と、施設の更新・改築など今後必要となる事業を考慮した適正な使用料金への見直し等
- ○長期的な収支バランスを見通した下水道経営計画の検討（人口減少に伴う使用料収入の減少などに対する負担構造の検討や新たな事業に対する負担のあり方、適切な維持管理体制を確保するための人員確保など）

### 8.2. 整備済下水道施設(下水道ストック)：適切な維持管理,計画的な修理・更新を目指す

- ○施設状態を把握するため、計画的な観点からの調査実施
- ○長寿命化計画を目指した調査実施、計画策定
- ○新設、改築、維持管理費用などを含めたライフサイクルコスト(LCC)の最小化の観点を踏まえ、限られた財源の中で機能を維持するための計画的な改築及び維持管理を行うためのストックマネジメント、アセットマネジメントの検討
- ○維持管理システムの構築と下水道施設資産台帳システムとの連携

### 8.3. 汚水処理：適切な汚水処理を目指す

- ○水洗化の推進

8.4. 水環境：川や海をよごさないよう水環境の保全を目指す

- ○適切な汚水処理による放流水質の維持
- 大雨や地震時など災害時における汚水処理方針の検討

8.5. 将来施策 地震対策：将来にむけて地震に負けない下水道を目指す

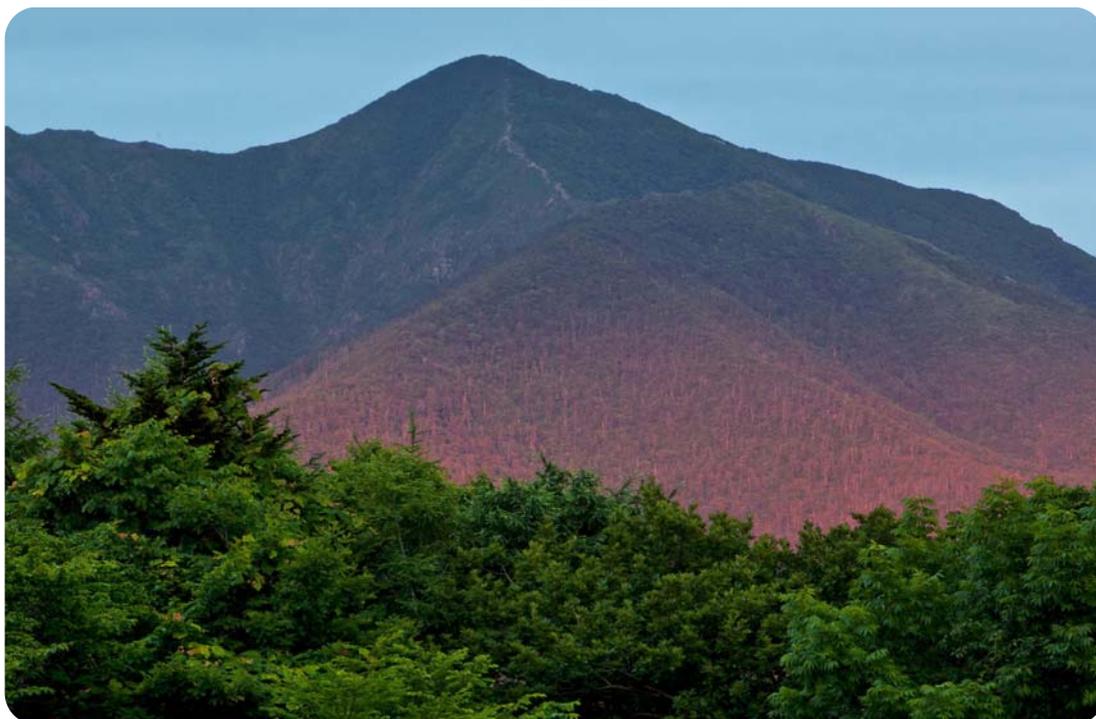
- 地震時の被害低減を目指した対策検討
- 下水道施設の耐震評価

8.6. 将来施策 地球環境貢献(下水道資源・資産)：汚泥、施設の有効利用を目指す

- 下水汚泥再利用の継続的な推進
- 施設の有効利用のあり方を検討

8.7. 参考施策 浸水対策：雨に負けない下水道を目指す

- 既存排水路を適切に維持管理



## 9. 施策別優先順位

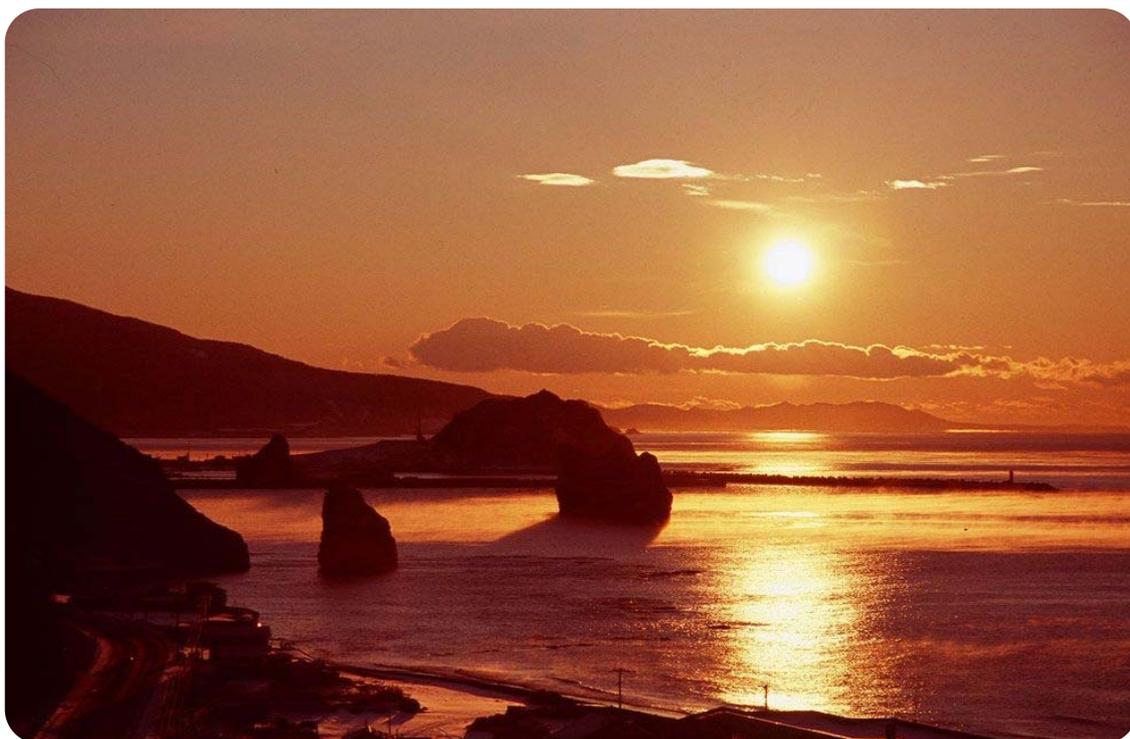
下水道中期ビジョンは、今後10年程度の目標を定めるものですが、優先順位づけをした上で具体的施策を進めていきます。

下水道経営、整備済下水道施設（下水道ストック）は、今後取り組むべき優先順位が高い施策であり、これらを優先して実施していきます。

現況と課題の整理の中で、汚水処理、水環境、浸水対策については、現況で大きな課題がない状況にあります。今後とも役割を維持できるよう、維持管理をしっかり行い、事業を進めます。

地震対策、下水道資源・資産の課題については、現状の施策を継続しつつ将来的に検討を行い新たな課題に対する解決を目指します。

下水道中期ビジョンは、10年毎に見直しを図ります。



9. 1. 様似町下水道中期ビジョンにおける今後10年間の具体的な施策

表9-1 様似町下水道中期ビジョンにおける今後10年間の具体的な施策

課題項目	課題解決に関する基本方針	具体的施策	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
			2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
			平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
1) 下水道経営	将来を見通した健全な下水道経営を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民への情報開示の継続、推進</li> <li>○接続率向上に向けたPR活動の推進（水洗化率向上）</li> <li>○維持管理の効率化、コスト縮減、質的向上</li> <li>○持続可能な経営を目指して、財政健全化計画の継続実施と、施設の更新・改築など今後必要な事業を考慮した適正な使用料金への見直し等</li> </ul>	今後とも継続実施									
2) 整備済下水道施設 (下水道ストック)	適切な維持管理、計画的な修理・更新を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○処理場長寿命化計画策定</li> <li>○調査実施、計画策定、対策事業実施</li> </ul>	平成25年度調査 平成27年度以降事業化予定 処理場 平成26年度計画策定									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○管渠長寿命化計画（汚水） (マンホール型ポンプ所も含む)</li> <li>○調査実施、計画策定、対策事業実施</li> </ul>	平成23年度調査 平成25年度以降事業化 マンホールポンプ所 平成24年度計画策定									
3) 汚水処理	適切な汚水処理を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水洗化の推進</li> <li>○適切な汚水処理、維持管理を継続実施</li> </ul>	維持管理面からの事業の継続的推進									
			水洗化の推進									
4) 水環境	海や川をよごさないよう水環境の保全を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な汚水処理による放流水質の維持</li> </ul>	維持管理面からの事業の継続的推進									
将来施策 地震対策	将来に向けて地震に負けない下水道を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状の耐震レベルを維持</li> <li>将来的な施策：災害時対応など</li> </ul>	現状の耐震レベルを維持しつつ、将来的に耐震化を検討									
将来施策 地球環境貢献 (下水道資源・資産)	汚泥の有効利用、施設の有効利用を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状の汚泥利用の維持（肥料原料）</li> <li>将来的な施策：汚泥の有効利用、施設の有効利用</li> </ul>	現状の汚泥利用（肥料原料）を継続しつつ、将来的に有効利用を検討									
参考施策 浸水対策	雨に負けない下水道を目指す	治水レベルの維持	現状の治水レベルを維持									



第1回 さまに写真コンテスト グランプリ

2011 様似町  
下水道中期ビジョン  
概要版  
発行／平成23年12月

様似町水道課下水道係

〒058-8501 北海道様似郡様似町大通1丁目21番地 TEL 0146-36-2116

<http://www.hokkai.or.jp/samani/>